



三井住友海上グループ

2003年度 第1回

インフォメーション
ミーティング

2003年5月30日

三井住友海上火災保険株式会社

MS WAVE (2001-2002) の成果

合併を成功させ 成長軌道へ

MS WAVE

三井住友海上グループ

成長力

収益力

安定感

信頼感

MS WAVE 2002年度決算

厳しい環境下でも正味収保増収・当期利益増益

		予 想	実 績
保険引受面	<i>好調</i>		
	保険引受利益	330億円	370億円
資産運用面	<i>厳しい環境が続く</i>		
	一般利配収入	500億円	514億円
	有価証券評価損	150億円	503億円
決算方針	<i>P/Lの堅実性とB/Sの健全性を重視</i>		
	P/L 当期利益	320億円	324億円
	B/S健全性強化に向けた対応		
	➤退職給付引当金割引率		
	➤転籍社員人件費		
	➤価格変動準備金		
	➤アスベストスIBNR		

MS WAVE 達成状況(1)

	目 標	実 績
正味収入保険料	1兆1,970億円	1兆1,845億円
増 収 額	+ 213億円	+ 88億円
増 収 率	1.8%	+ 0.8%
抑制要因	住宅投資・設備投資・新車販売等の不振 金利低下による積立保険からの正味保険料減収	
= グループ連結の勢い =		
連結損保正味収保	1兆2,615億円	1兆2,532億円 (+ 300億円、+ 2.4%)
うち、海外子会社	645億円	686億円 (+ 209億円、+ 44%)

(もどリッチファンド、自賠償効果を除く)

MS WAVE 達成状況(2)



	<u>目 標</u>	<u>実 績</u>
コスト削減		
事業費率	35.4%	35.3%
ロス改善		
損害率	59.4%	57.2%
保険引受収支		
コンバインドレシオ	94.8%	92.5%
収支残高	625億円	895億円

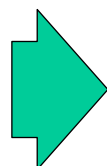
MS WAVE 達成状況(3)

生保新契約高
(きらめき生命)

(注) 契約高は団体保険を除く

資産運用
利回り

	目 標	実 績
新契約高	1兆円	1兆1,200億円
同 増加額	+1,400億円	+2,615億円



損保系生保2位への足場固め

運用利回りトップ		V8達成
インカム利回り	2.37%	2.37%

MS WAVE 達成状況(4)

		<u>目 標</u>	<u>実 績</u>
収益源 多様化の 基盤確立	新市場進出	中国・韓国・ インドへの進出	全て進出達成
	再保険	海外再保険子会社 の増強	大幅増強 高格付け (AA-)取得
	変額個人 年金保険	三井住友海上シテイ 生命の販売額 250億円	422億円

M S W A V E (2003-2004)

グループ総合力NO.1を実現

成長力・収益力NO.1

企業品質NO.1

リスクソリューションビジネス

損害保険

生命保険

海外事業

金融サービス

リスク関連事業

収益源の多様化

利益の拡大

永続的発展

株主価値向上

5つの重点指標の達成に取り組む

国内損保の正味収保増収率	1位 (成長力指標)
国内外損保の連結正味保険料	2位 (成長力指標)
損保系生保の保有契約高	2位 (成長力指標)
コンバインドレシオ	1位 (収益力指標)
資産運用利回り	1位 (収益力指標)

損害保険

正味収入保険料

1兆2,300億円

事業費率 33.8%

損害率 59.2%

コンバインドレシオ 93.0%

一般利配収入 470億円

当期利益 520億円

ROE 4.7%

グループ連結

連結正味収入保険料

1兆3,170億円

連結当期利益 570億円

ROE 5.1%

MS WAVE 経営目標数値<2004年度>(2)

統合基本計画(2004年度)との対比

	統合基本計画	MS WAVE	変更要因
正味収入保険料	1兆2,400億円	1兆2,300億円	積立保険からの正味収保 - 266億円
事業費率	32.5%	33.8%	社費率 + 0.5ポイント 代理店手数料率 + 0.8ポイント
損害率	59.5%	59.2%	ロス改善進捗 - 0.3ポイント
コンバインドレシオ	92.0%	93.0%	(上記要因の通り)
一般利配収入	800億円	470億円	長期金利見込み3.4% 1.2%
当期利益	840億円	520億円	引受収支残、一般利配収入
連結当期利益	940億円	570億円	生保、金融サービス事業

(もどリッチファンド、自賠償効果を除く)

国内損保事業以外で**実質的当期利益100億円規模**をあげる

生命保険	保有契約高	6兆9,000億円
	実質的当期利益(*)	20億円
海外事業	当期利益	66億円
金融サービス	当期利益	10億円
リスク関連事業	当期利益	1億円

* 標準責任準備金に向けた積増を行わなかった場合の当期利益

リテール分野強化でM / Sアップ

商 品

基幹商品	増収寄与度(前期)
MVP	
自動車保険 MOST	+ 0.8%
傷害疾病保険 VIV	+ 1.5%
火災保険 ホームピカイチ	+ 4.7%

販売チャネル
強化

自動車新規	30台/営業社員1名・月
ic(インシュアランスコンサルタント)採用	450名
代理店新設	4,000店
団体開拓	2,600団体
企業開拓	6,250社

生保提携

2003年度目標	
住友生命提携	88億円(増収 8億円)
三井生命提携	120億円(増収80億円)

銀行窓販

ローン長期火災 売上高	130億円(増収20億円)
----------------	---------------

成長力指標

正味収保 増収率 1位(2)

リテール分野強化でM / Sアップ

営業改革

情報ネットワーク代理店MS 1

4万店に配備(会社売上の85%をカバー)

IT経営度ランキング総合1位

(経営科学研究所:上場413社対象)

テレマーケティング積極展開

センター営業課 全国43拠点・17,300店

損害サービス

サービスネットワーク拡充

損害サービス部4店新設

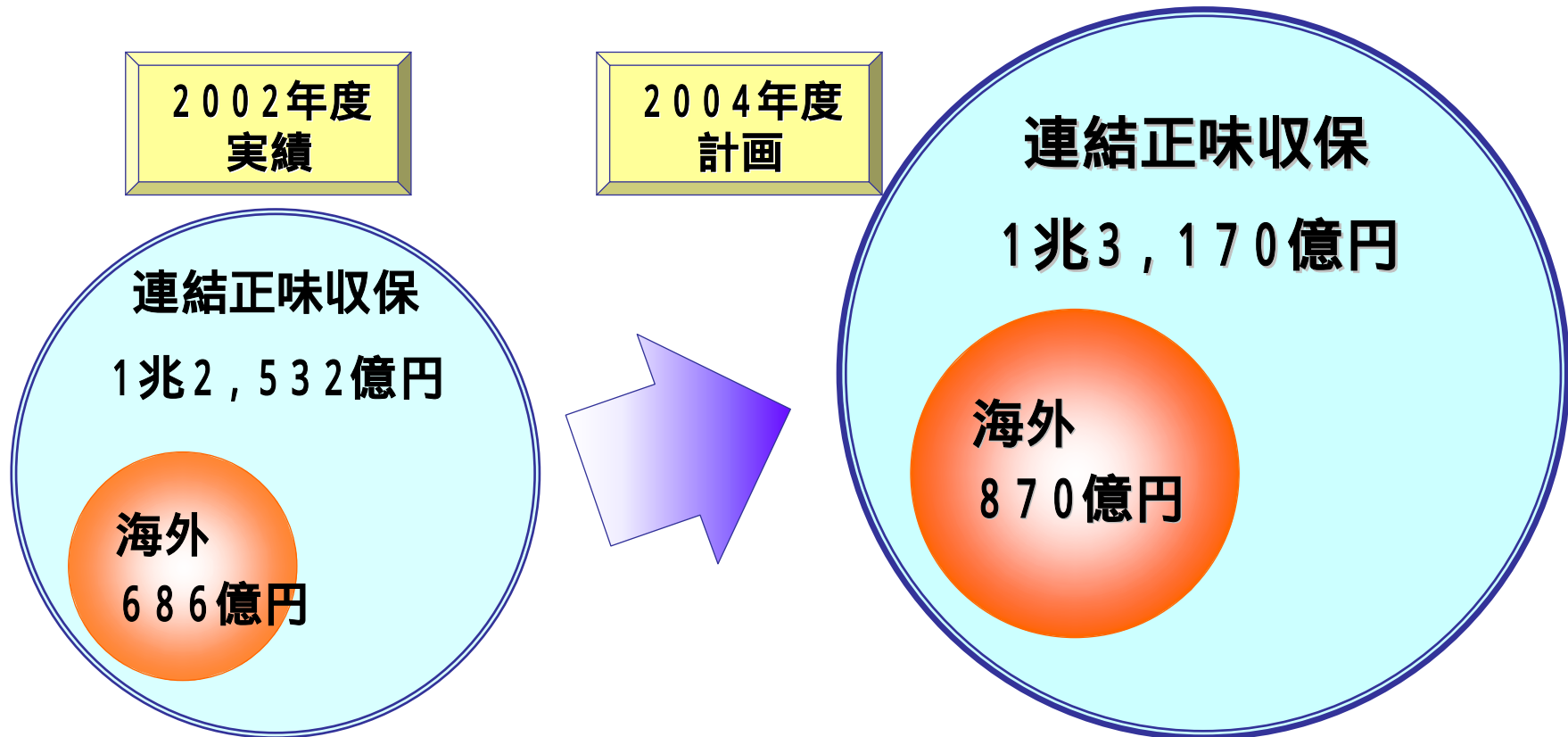
(群馬・千葉・埼玉・静岡)

サービス要員100名増員

成長力指標 連結正味収保 2位

海外を大きく伸ばし 3位から2位へ

アジアに戦略的資源投入
米国営業のレートアップ(収支改善を狙い)
再保険戦略の強化

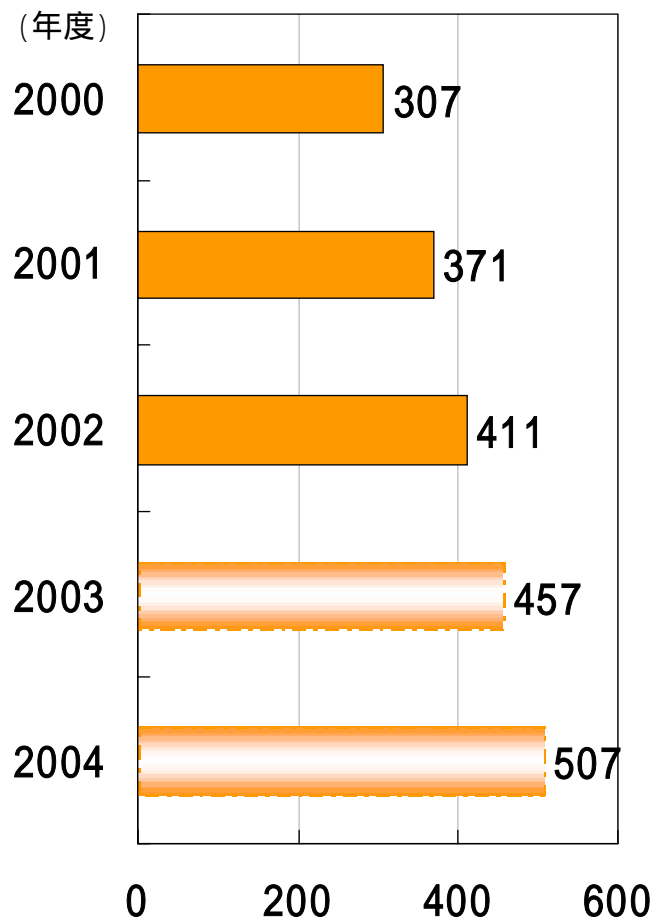


連結正味収保2位 アジアにおける事業展開

～ 日系損保No.1のネットワーク、現地市場での高いプレゼンス～

高い成長率

当社グロス保険料(億円)



国名	業界ランキング
マレーシア	8位/46社
シンガポール	5位/51社
フィリピン	2位/100社
インドネシア	6位/109社
タイ	11位/78社
ベトナム	6位/10社
台湾	24位/27社
韓国	-
香港	27位/150社
中国	-
04年度収入保険料(計画)	
500億円	

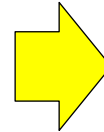
アジア地域グローバル保険会社比較		
ランク	会社名	損保グロス保険料(億円)
1	AIG	662
2	三井住友海上	379
3	アリアンツ	334
4	チューリヒ	292
5	アクサ	286
6	アヴィヴァ	269
7	ミレアHD	220
8	RSA	195
9	イー入	142

(注) 2001年各国保険協会資料より集計 16

連結正味収保2位 再保険戦略

保有・再保険政策

国内外一体管理により
グループ全体の保有・再保険
のベストバランス追求



グループ
正味収保増大

海外再保険子会社

エムエス・
フロンティア・リー
(バミューダ)
資本金120億円

ミツイスミトモ・リー
(ダブリン)
(シンガポール)
(ラブアン)
資本金52億円

再保険市場は料率上昇局面
高格付けを活かした優良案件引受

2002年度実績

2004年度計画

正味保険料 38億円

(フロンティア・リー 2億円)

(MS・リー 36億円)

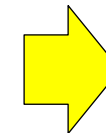
当期利益 2億円

71億円

(9億円)

(62億円)

6億円

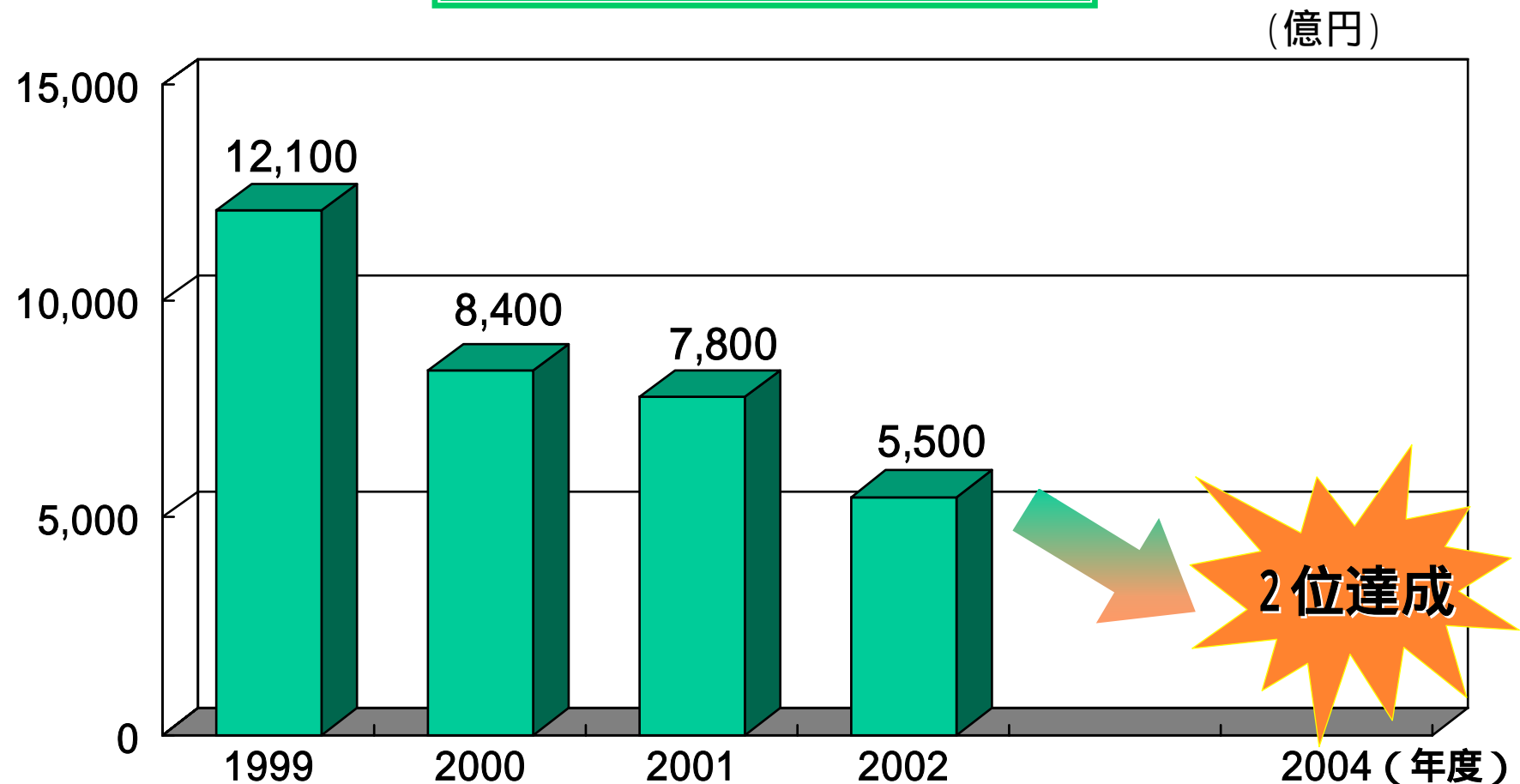


成長力指標

損保系生保の保有契約高 2位

きらめき生命・・・2位会社を着実にキャッチアップ

2位会社との保有契約高の差



生命保険：グループのコア事業

三井住友海上
きらめき生命
(保障重視型商品)

独自商品

MS終身、収入保障保険

販売網強化

直轄支社制度、生保専任要員

収益力アップ

2002年度実質利益 16億円
2010年度利益目標 100億円

三井住友海上シティ
インシュアランス生命
(資産活用型商品)

急成長分野

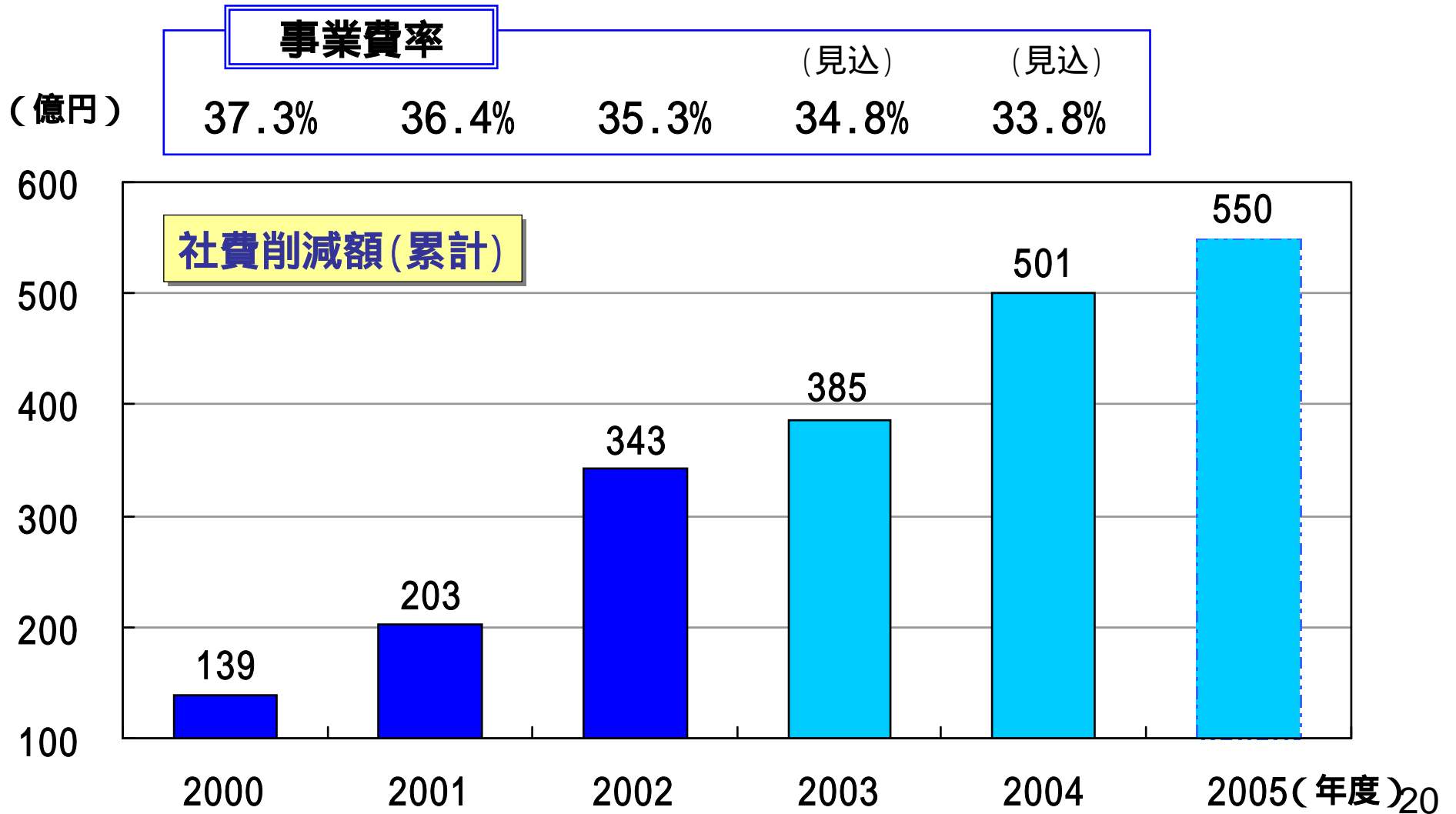
販売網 銀行・証券会社 36社
2002年度販売実績 422億円
2003年度販売目標

変額個人
年金保険

1,300億円
将来の利益目標
50億円規模

収益力指標 コンバインドレシオ 1位 <事業費率>

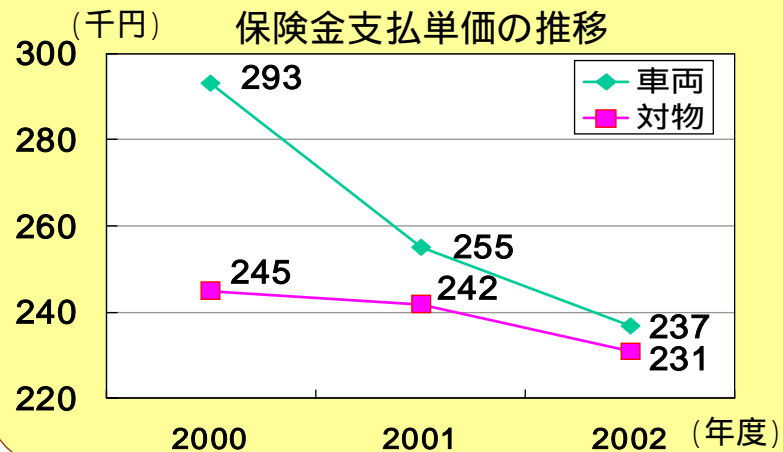
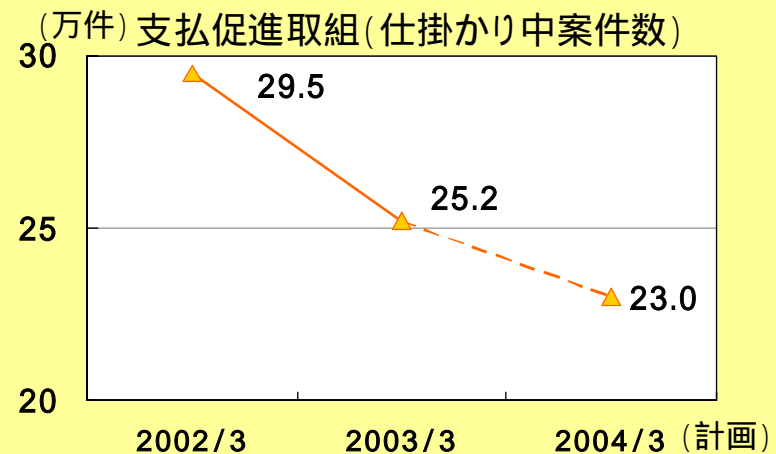
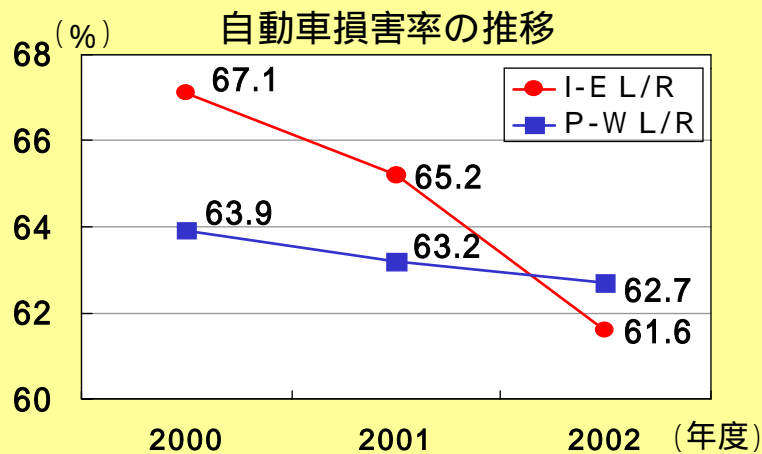
2年間(2003・2004年度)の社費削減目標 = 158億円



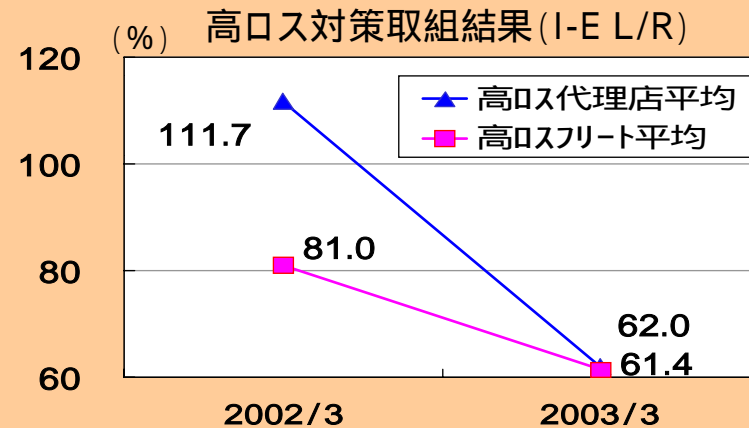
収益力指標 コンバインドレシオ 1位 <損害率>

～CS向上とロス改善に並行して取り組む～

自動車損害サービスシステムWITH - 支払の迅速化・適正化 -



リスクマネジメントサービスと高ロス対策



収益力指標

資産運用利回り 1位

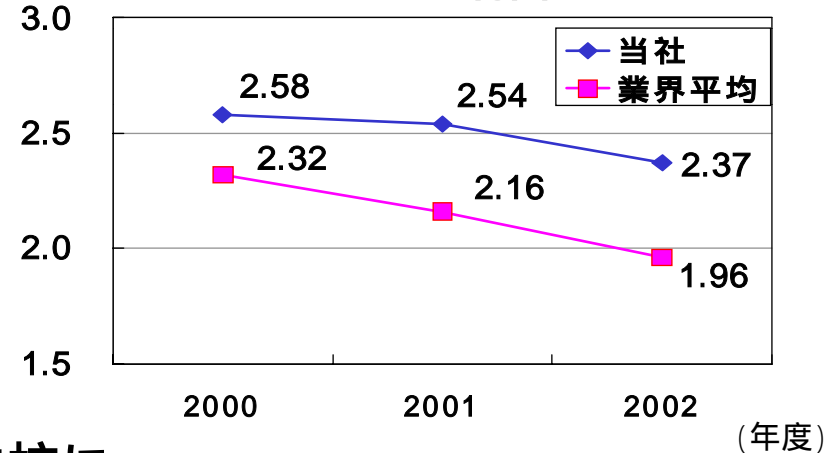
運用利回り V8 記録を更新する

- 資産運用力は
当社の際立った強み

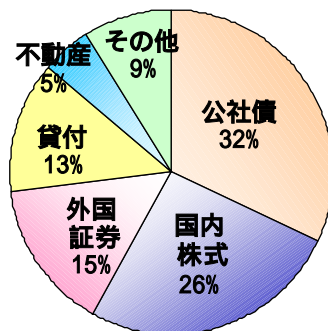
運用力ナンバーワンの原動力

- 高格付け円貨債を資産ポートフォリオの中核に
- 外貨債、AI(オルタナティブ・インベストメント)投資でリスク分散と収益性向上
- 個人向けローンの拡大、固定金利貸付のウェイト確保
- 三井住友アセットマネジメントの活用

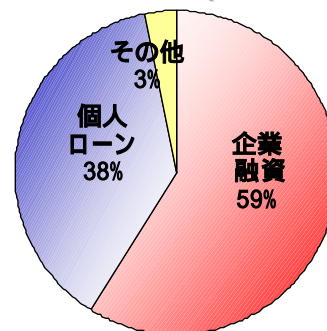
インカム利回り



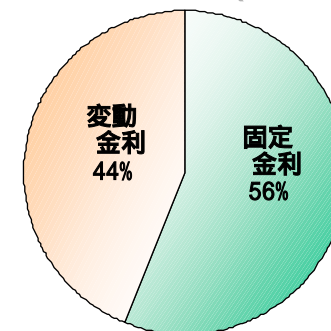
【運用資産内訳】



【貸付金内訳(貸付先)】



【貸付金内訳(金利)】



削減計画

2000年3月末ポートフォリオ対比、
5年間(05年3月末まで)で20%を削減

削減目標額 : 約5,200億円

2003年3月末削減実績: 約2,600億円

(取組開始時点の市場価格ベース)

同 進捗率 約50%



計画を着実に遂行

リーディングカンパニーにふさわしい最高品質を追求

社員の意識改革と行動変革

徹底したお客さま志向、最高品質のサービスを提供

リスク管理・コンプライアンスの徹底

資本活用の高度化

コーポレートガバナンスの強化

企業の社会的責任への積極対応

企業品質NO.1戦略 資本戦略

資本の十分性確保と効率性アップ

保有株式売却

で 経営リスク圧縮

(売却計画完遂
= 約600億円のリスク圧縮)

自社株取得

で 資本のスリム化

(2003年度取得枠案
4,000万株、260億円)

余剰資本

を 高収益事業
に配分

(生命保険、アジア事業など)

中期的 ROE向上

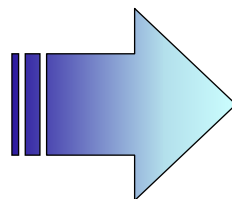
2003年3月末連結ROE 2.8%

2005年3月末目標 5.1%

企業品質NO.1戦略 コーポレート・ガバナンス

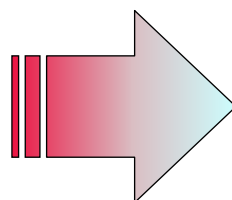
～ コーポレート・ガバナンス強化はグループ経営理念の柱～

新たな経営システム



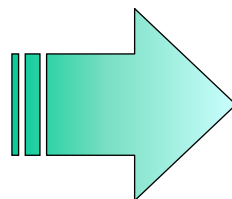
社外取締役
委員会等設置会社
重要な検討課題と認識

経営の透明性確保



公正なディスクロージャー、I R
USGAAP基準の決算公表

企業の社会的責任



CSRの組織的取組を積極推進

三井住友海上グループは

保険・金融サービス事業を通じて

世界に安心と安全をとどけ

豊かな社会作りに貢献します

最高の商品とサービスを提供し

お客さまの満足を実現します

永続的な業績向上を目指し

株主の信頼と期待に応えます

ご期待下さい。

2003年5月30日 三井住友海上火災保険株式会社



三井住友海上

【予想および見通しに関する注意事項】

本資料に記載の内容のうち、歴史的事実でないものは、三井住友海上(以下、当社)の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想および見通しであり、現時点で把握可能な情報から得られた当社の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな不確定要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果になり得ますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼし得る要素には、(1)事業領域を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸規制の変更、などを含みます。